

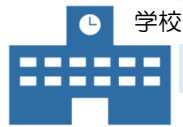
和歌山発！地域の未来を拓く鍵となる「Key Girl」育成プログラム

研究開発の背景

実施体制

今年度の取組

今年度の成果と次年度への課題



学校
探究活動によって生徒の質が変容

カトリック教育によって奉仕貢献の心が育まれた本学生と地域の未来に尽力する人々との「絆」が地域の未来を切り拓く人材へ育成させる

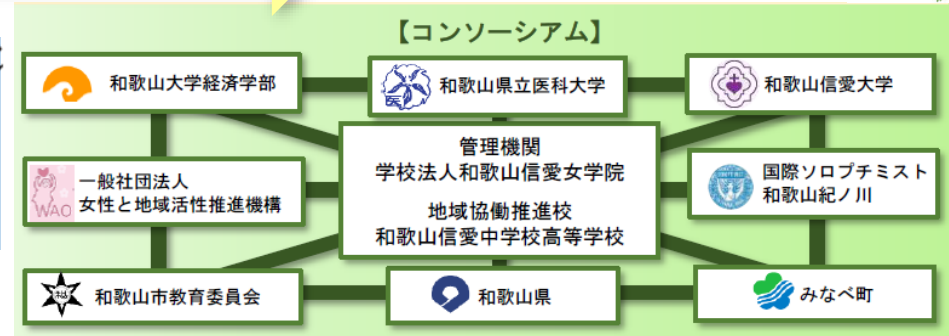
和歌山県の現状→急激に少子高齢化が進む（高校卒業者の県外流出が大きな原因）



【今年度協力団体】

- 徳島大学
- 金沢大学
- 日本赤十字
- 公益社団法人日本ユネスコ連盟協会
- 株式会社ワコール
- ワールドイベントリンク
- 日清食品
- Future Skills Project
- Save the childrenなど多数

令和3年度の目標	取組状況
「キャリア探究」の完全実施	達成
最終成果発表会の実施	一部変更して達成
本事業の研究完了報告書の作成	作成中
次年度以降のとりくみについて	達成
「ミニ探究」「英語で学ぶ授業」の開発再開	未達成
コロナ禍の時代における口頭発表会の形式確立	達成
新学習指導要領に対応したカリキュラムマネジメント	一部達成
オンライン型探究教材の開発	達成、今後も継続
英語外部検定（英検およびGTEC）への取り組み	一部達成、今後も継続



○変更点○

※コロナウイルス感染拡大防止の観点から本来「対面型」で行う予定であったパネルディスカッション、ポスターセッション、最終発表会、東京フィールドワーク、最終成果発表会、カンボジア研修、合同カンボジア研修等をすべて、ZoomやGoogle Meetを用いた「オンライン型」に変更。

【成果】

- ◎探究学習に対する興味関心、地域社会への貢献意識、協働することの大切さ、正解が一つではない学びに対する挑戦心が向上した。
- ◎東京フィールドワークをオンライン形式に変更したことにより、多くの生徒が企業と連携し、オンラインによるインターンシップを実施することができた。
- ◎教員によるフィールドワークやオンライン会議など、コロナ禍にあってもコンソーシアム参加機関から様々な学びの機会を提供していただくことができた。
- ◎コロナ禍においてオンラインにおける効果的な発表形式を確立するとともに、他校や地域など多くの外部の方々に発表動画を視聴していただくことができた。
- ◎生徒のカンボジア研修は断念したが、本校が幹事校となって、例年カンボジアに研修に行っている5校が集まり、カンボジアとオンラインでつながる合同カンボジア研修会は今年も実施することができた。また教員1名が実際にカンボジアに渡航して、本校独自のハイブリッド型カンボジア研修も実施することができた。

【今後の課題】

- ◎生徒の「探究の深さ」
- ◎各教員における探究活動に対する本質的理解のばらつき
- ◎「ミニ探究」「英語で学ぶ」授業開発を含む、探究学習を軸としたカリキュラムマネジメントの推進
- ◎コンソーシアムとの連携の維持
- ◎自走における活動予算の確保